

長期耐候性 光沢美装性 上水規格適合品

しなやかで強靭な塗膜は熱にも強い 上水施設にも認められた安全な塗料です  
まるで濡れたような美しい艶に仕上がります

# パイロキープTS2000 ホーローバス工法



## 製品荷姿

ベースコート（プライマー）・・・4kg・1kg（セット）  
パイロキープTS2000・・・10kg・4kg・2kg・1kg（セット）  
パイロキープ専用シンナー・・・15kg・4kg・1ℓ・500cc  
硬化促進剤・・・80gピン又は缶・200g缶

株式会社 彩色工房

広島市安佐北区落合南1丁目3-13 富田第一ビル104 TEL/FAX: 082-847-3080  
HP: <http://www.314ki.com> Email: [info@314ki.com](mailto:info@314ki.com)

## パイロキープ工法によるホーローバス（ステンレスバス）リメーク

商品名	色調	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	混合比率 (主剤/ 硬化剤)	溶剤希釈率 (%)	ポットライフ (混合後の 可使時間)20°C	塗装間隔及び実用硬化時間
ホーローベース コートJW	白	0.2～ 0.3 ×1回塗り	7/1	5～15 (標準)	最大5時間以内 通常1時間以内で 使い切る量を計量 し、混合する	通常16時間以上7日以内 基本塗装翌日に研磨して上塗り工程に移る
パイロキープ TS2000	標準色 5色 その他 塗工調色	0.12～ 0.15 ×2回塗り	7/3	5～20 (標準)	最大3時間以内 通常1時間以内で 使い切る量を計量 し、混合する	5～9°C… 8～12時間以上 4日以内 10～19°C… 6～8時間以上 4日以内 20～30°C… 4～6時間以上 4日以内 施工後の実用硬化時間は 48 時間以上

※寒冷期には硬化促進剤を使用してください。施工時間短縮にも硬化促進剤を使用する場合もあります。(1～2%添加)

※希釈にはパイロキープ専用シンナー又はウレタンシンナーを使用してください。

素材	ホーローバス
① 研磨・目粗し	塗装しようとする浴槽内全面を粗目のサンドペーパー(#24～120番程度)等にて目粗してください。
② シンナー脱脂	塗装しようとする浴槽内全面を専用シンナー又はウレタンシンナーを使用し脱脂清掃してください。
③ マスキング養生	浴槽回りおよび金具類等、塗料の付着防止には養生テープ等を使用してマスキングしてください。
④ -A 手塗工法	(手刷毛塗装)5～7cmの溶剤用ナイロン刷毛(推奨)の使用で基本2回塗りしてください。
④ -B 吹付工法	(吹き付け塗装)スプレーガン、低圧温風塗装機を使用しウレタン塗装の要領で塗装してください。 (基本2回塗り)バスルームは密室の為、難易度の高い塗装となります。養生、排気等を十分考慮ください。
⑤ ポリッシング	塗料硬化後、ブツ、ざらつきの残る場合はペーパー、コンパウンド、ポリッシャー、バフ等の使用で仕上げ作業をしてください。(状況に応じ任意)

※施工要領詳細は別紙施工仕様及び施工要領書をご確認願います。弊社にご依頼下さい。

※彩色工房バスタブ標準色 ※下記色見本はモニターや印刷では実際と誤差があります。日塗工色見本帳をご確認下さい。

※実際の塗料をコート紙に塗った物もご用意しております。実際色の確認をご希望の方はご依頼頂ければ郵送させて頂きます。パステルブルーグレー パステルピンク パステライボリー パステルブルー ホワイト



(日塗工 69-80D近似)



(日塗工 09-90D近似)



(日塗工 25-90D近似)



(日塗工 69-80H近似)



(日塗工N-95近似)

### ベースコート/パイロキープ TS2000 塗装での注意事項、その他注意事項

前処理でパテ使用の際は2剤型エポキシパテを使用してください。ポリパテは密着不良が多く使用できません。

弊社ではソーラー社のエポキシパテ #910ソフトを推奨しております。

硬化不良、艶引けを起こす場合があります。気温5°C以下あるいは湿度85%以上では塗装しないでください。

塗料は開缶後、容器の底の沈殿物が均一になるまでよく攪拌した後、硬化剤と混合し、1分程度攪拌してください。

硬化後は強溶剤に浸けても戻りません。使用後の刷毛・ローラー・塗装機は速やかに十分に洗浄して下さい。

キシレンを含む強溶剤塗料です。火器に対する注意、換気、防毒対策等の安全管理をお願いします。

施工終了後、お風呂洗浄の際は中性洗剤を使用し、スポンジ等も塗膜を傷付けない物をご使用下さい。

入浴剤に硫黄系、唐辛子系等を使用した場合、変色や着色する場合があります。使用しないで下さい。

※バスの塗装改修は難易度の高い施工となり、仕上げ精度は施工者様の熟練度に左右される場合が多い為、

弊社では仕上げ精度等についての苦情は受けかねます。ご了承頂けました場合のご使用として下さい。